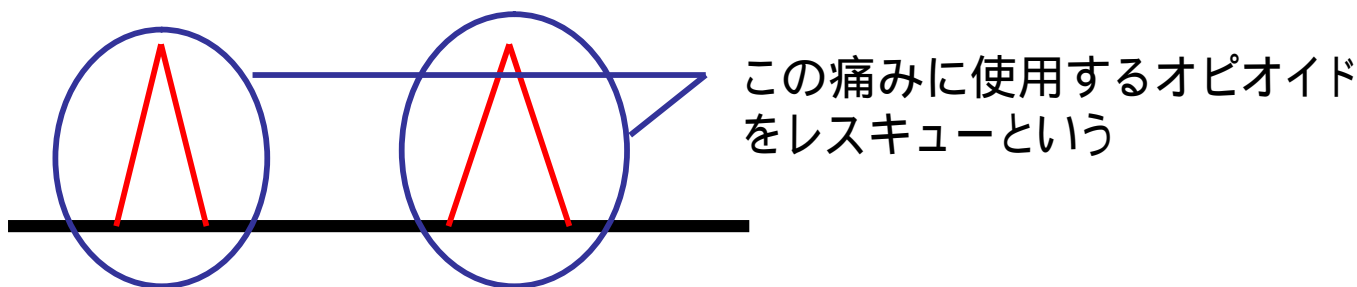


# 今さら聞けない基礎知識 ～レスキューと オピオイドローテーション～

## レスキューとは

レスキューは普段オピオイド服用中にはコントロールできている痛みが突然出てくる痛み、突出痛を抑えるために使う速効性のオピオイドをレスキューといいます。

つまり、一時的に強く出てくる痛みを抑えるために使用するオピオイドということになります。



—— : 普段コントロールできている痛み

— : 突出痛

レスキューは通常、経口投与なら使用しているオピオイドの1日量の1/6の用量を使用します。注射薬であるならばレスキューは1日量の1/24を追加投与に使用します。

1日量は実用の麻薬用量計算を参考にしてください。

(<http://asp.cerulean-net.jp/asptest/pharma/>)

経口投与では使用回数にも制限をせずにいたい時に使用し、1hr間隔をあけての使用となります。使用回数が多くなるようならオピオイドの1日量を増量する必要があります。

現在レスキューに使用できるものには塩酸モルヒネ製剤と即効性オキシコドン製剤の2種類があります。

## オピオイドローテーションとは

オピオイドローテーションとは使用中のオピオイドを他のオピオイドに交換することを言います。

現在わが国で使用できるオピオイドは現在3種類でありこの3種類で変更をおこなう。

オピオイドローテーションは以下のようなときに検討します

- ・副作用がひどいとき
- ・増量しても効果が不十分なとき
- ・投与経路の変更
- ・耐性形成の回避

ただし、ローテーションにより副作用の増強や疼痛の悪化などもあります。ローテーションをおこなう際にはこのことを理解しておこなうべきです。

また、副作用によるオピオイドローテーションをおこなう際には副作用の予防をきちんと行いそれでも管理できないときに使用するべきである。

予防に関しては復習の麻薬投与時の副作用対策を参照してください

(<http://www.yakuzaisi.net/study/report/002.pdf>)

大量投与時のオピオイドローテーションに関しては1度にすべて変換するのではなく徐々にオピオイドの変換をおこなう。

参考資料: 治療薬マニュアル2006 医学書院

オピオイド治療薬 課題と新潮流 鎮痛薬・オピオイドペプチド研究会

エルゼピア・ジャパン

がん疼痛治療のレシピ 的場 元弘 春秋社

今日の治療薬2007 神谷 大雄 久保 孝夫 塩見 浩人 南江堂

薬局 vol.56/2005 2 南山堂